

華麗なる日本刀 備前刀の伝統 鎌倉時代から現代まで 出品目録

古河歴史博物館

会期：平成31年3月16日～5月6日

番 号	名 称	時 代	備 考
1	太刀（特別重要刀剣）銘 備前国助包（古備前）	鎌倉初期	（附）金梨地研出鞘細太刀拵
2	太刀（重要刀剣）安則（古一文字）	鎌倉初期	閑院宮家伝来
3	刀（特別重要刀剣）金象嵌名 吉房 本阿（花押） （光忠）	鎌倉中期	
4	薙刀直し脇指（重要刀剣）無銘 片山一文字	鎌倉中期	（附）青貝微塵変り塗鞘脇指拵
5	刀（特別重要刀剣）無銘 光忠	鎌倉中期	（附）宝永参年本阿弥光忠折紙
6	太刀（重要刀剣）銘 光忠	鎌倉中期	
7	刀（重要刀剣）無銘 景秀（備前長船光忠弟）	鎌倉中期	
8	太刀（重要美術品）銘 長光	鎌倉中後期	黒田家伝来
9	短刀（特別重要刀剣）銘 長光	鎌倉中後期	伊東巳代治家旧蔵
10	太刀（特別重要刀剣）銘 備州長□□景光 嘉暦□年 八月日	鎌倉後期	号 秋月
11	太刀（重要刀剣）銘 備前国長（以下切れ）近景	鎌倉後期	佐竹家伝来、拵付
12	太刀（重要美術品）銘 備前国長船住兼光	南北朝初期	伊達家伝来
13	太刀（特別重要刀剣）銘 備州長船倫光	南北朝	
14	短刀（特別重要刀剣）銘 備州長船住長義 応安二年 九月日	南北朝	紀州徳川家伝来 （附）古鞘・短刀拵
15	短刀（重要刀剣）銘 備州長船盛景 永和三年三月日	南北朝	拵付
16	短刀（重要刀剣）銘 備州長船守久	南北朝	拵付
17	刀 銘 備前国住長船左京進宗光 長船次郎左衛門尉 勝光 永正十八年八月吉日	室町後期	美濃加納藩主永井家伝来
18	刀（重要刀剣）銘 備前国住長船彦左衛門尉祐定作 天正元年八月吉日	室町末期	三矢宮松旧蔵 拵付
19	短刀 銘 備前国住長船彦左衛門尉祐定作之也 天正 元年八月吉日	室町末期	両刃短刀、拵付
20	刀（重要美術品）銘 出羽国大慶庄司直胤（花押）文 化十二年乙亥年仲秋 応杉原軍記正包望造之	江戸後期	
21	大小 刀（重要刀剣）銘 応古河候命 固山宗次 天保庚子 孟春吉辰初造焉 脇指（重要刀剣）銘 応古河候命 固山宗次 天保 庚子孟春吉辰初造焉	江戸後期	土井家伝来 （附）大小拵（重要刀装具、吉岡 因幡介一作拵）
22	刀（重要刀剣）銘 作陽幕下士細川正義 刻印 行年 七十有二歳 安政二乙卯年正月吉日 応柳田武業□需 造之	江戸後期	
23	刀 銘 於古河城中泰龍齋宗寛彫同作 明治元年十一 月日	江戸後期	土井家伝来 拵付
24	太刀（高松宮記念賞）銘 善博（日刀保無鑑查刀匠 久保善博）	現代	
25	短刀 銘 国宗（宇多）	室町中期	
26	銘 後藤法橋一乗（花押）雪華紋散図大小鐔		

※本目録は予定であり、都合により変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。